

登録コード	BSB51500	開講年度	2026		
授業題目	学外特別講義 A			担当教員	森山 徹 他
英文授業名	Intercollege Lecture A			副担当	水野 正浩・保坂 毅
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・
講義室		授業形態	講義	備考	【学生・教務委員】長野（工学）キャンパス：水野先生、伊那キャンパス：保坂先生
信大コンピテンシー	該当				
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】	
	2026BSカリ、2025BSカリ、2024BSカリ、2023BSカリ				
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力			国内外の高等教育機関の講義を受講することにより、専門及び関連する分野を中心とする広範な知識を習得し、その結果を発信することができるようになる。	
(2)授業の概要	本学では、グローバル社会で活躍できる人材育成のためのキャリア教育・国際化教育の一環として、海外留学・海外体験などの海外活動を奨励しており、国内外の高等教育機関等が開講している授業や国内外での広範な活動成果について、履修希望者からの申請に基づき、履修（活動）の内容・時間数・難易度等が本学の単位として他の授業レベルに相当するか否かを個別に評価した上で単位認定をする。単位認定の対象となるかについては事前に学生・教務委員（備考欄を参照）に相談を行うこと。 海外留学等の場合、留学先の大学等で履修した実績などを単位取得の有無に関わらず申請できる。また、複数の授業科目・実績等を組み合わせることも可能である。				
(3)授業計画	1．事前の担当教員（学生・教務委員）との相談 受講の承認を得ること。 2．受講 他の教育機関のシラバスや海外留学のプログラム等を参照 3．単位認定の申請 受講・留学等終了後1か月以内に下記の資料を揃え、学生・教務委員に提出する。 ・学外特別講義履修申請書（様式1・2） ・活動（履修）の内容・時間数等を証明する書類、単位取得証明書、修了証など ・その他、学生・教務委員から指示のある資料等				
(4)成績評価の方法	提出された資料に基づき、活動（履修）の内容・時間数・難易度等が、本科目として本学の他の授業レベルに相当するか否かを評価した上で、その達成度に応じて学生・教務委員が成績を認定する。（他の教育機関等が与えた評価がある場合には、その内容に相当する本学の評価として認定する。） なお、評価段階において必要に応じてヒアリングを行うことがある。				
(5)成績評価の基準	「水準にある」 授業の達成目標を満たしている。 「やや上にある」 授業の達成目標を満たし、達成度が十分なレベルにある。 「かなり上にある」 授業の達成目標を満たし、達成度が教員を感心させるレベルにある。 「卓越している」 授業の達成目標を満たし、達成度が受入れ先から高い評価を得るレベルにある。				
(6)事前事後学習の内容	2単位修得するには、90時間の学修が必要となる。（通常の週1回授業で2単位の授業では授業時間30時間（2時間×15回）、自習時間60時間（4時間×15回））				
(7)履修上の注意	1．事前に学生・教務委員の承認を得ずに受講した場合は、単位認定されない場合があるので注意すること。 2．大学院入学後の受講・留学等のみを対象とする。 3．学外特別講義 A と学外特別講義 B の両題目の単位取得が可能である。ただし、一方で申請した活動（履修）内容は、他方では使用できない。				
(8)質問、相談への対応	各キャンパスの学生・教務委員へ問い合わせること。				
(9)その他					
【教科書】	受講する科目の指示による。				
【参考書】	受講する科目の指示による。				